

愛知工業大学強震ネットワーク

愛知工業大学 正会員 ○正木 和明
愛知工業大学 学生員 佐口浩一郎¹⁾

兵庫県南部地震において強震観測ネットの記録が極めて有意義であった。濃尾平野にはまだ強震ネットが整備されていなかったために、その整備を試みてきた。強震計はキネメ社のアルタスK2加速度計を用いた。濃尾平野の震動特性を研究するために、平野を東西に横切るネットを設置した。又、地盤の増幅特性、構造物地震応答を研究する目的で、愛知工業大学内に地中、地表、建物内に3次元アレイネットを設置した。設置後2年が経過し、約20個の記録が得られている。

参考文献 1) 正木和明、佐口浩一郎：1997年3月16日三河東部地震地震記録と濃尾平野震動特性、10年度土木学会中部支部概要集、p.65-66、1998、2)佐口浩一郎、正木和明：常時微動を用いた地盤構造探査と濃尾平野における強震動特性、11年度土木学会中部支部概要集、p.105-106、1999

1) 現東京工業大学総合理工研究科

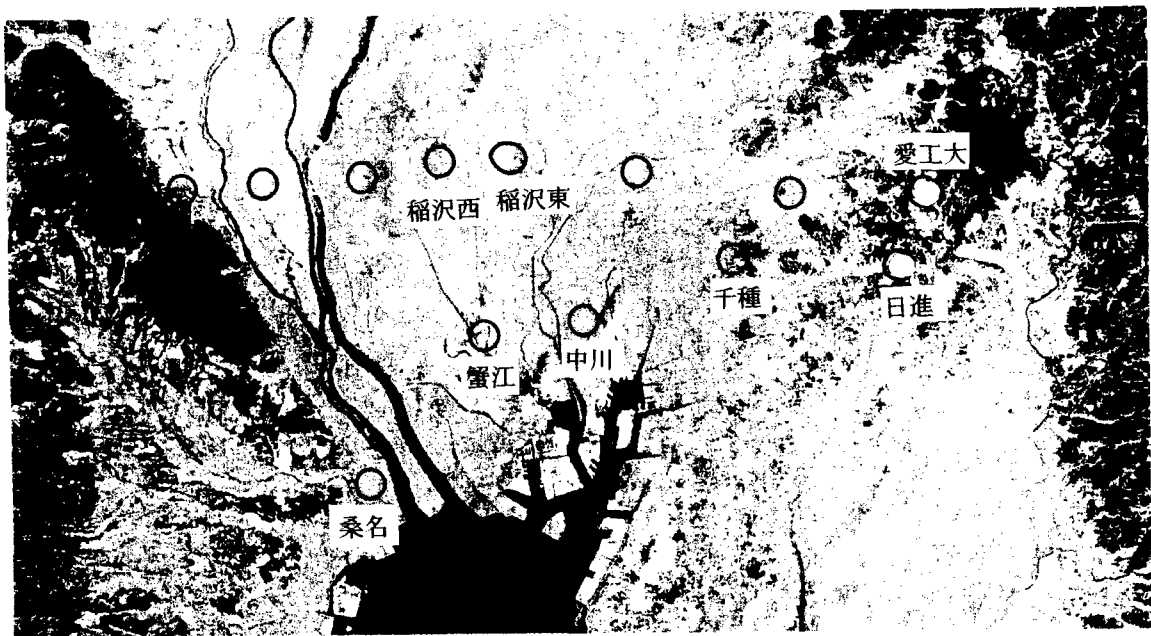


図1 強震計設置点（地名付）と設置予定点

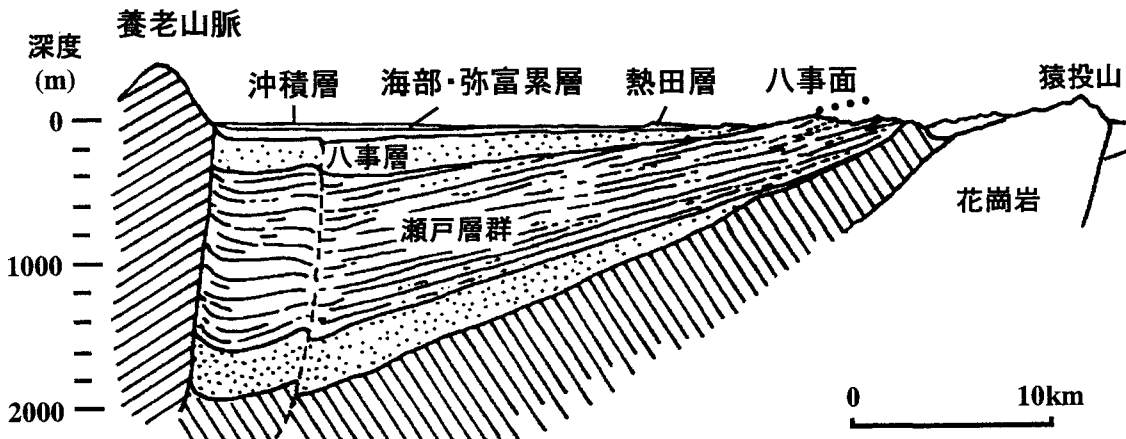
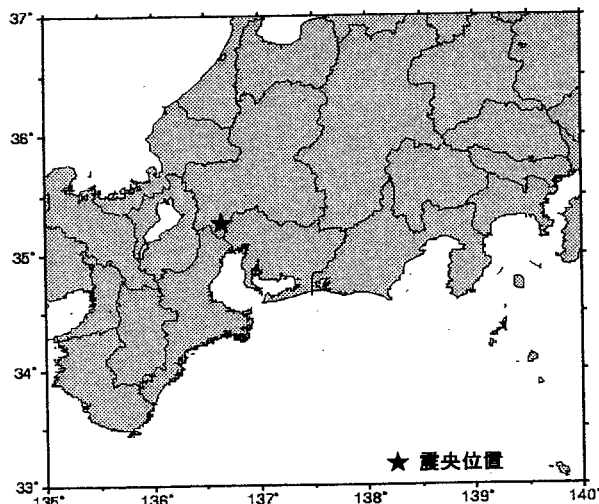


図2 濃尾平野東西地質断面（図1のスケールにほぼ一致）



発生日時：1998年5月17日 12：59

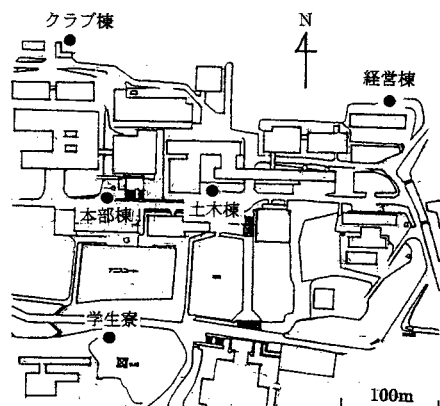
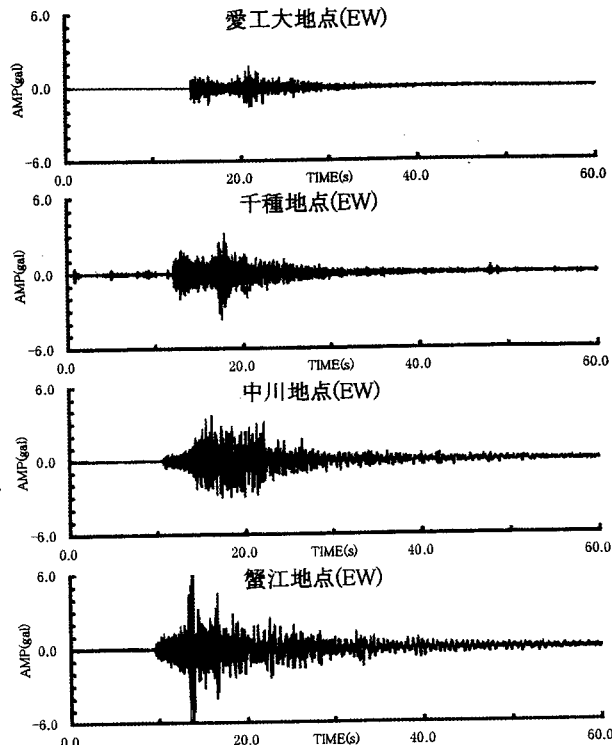
震央位置：北緯35°12′ 東経136°36′

震央地名：岐阜県美濃中西部

深さ：10km M=3.9

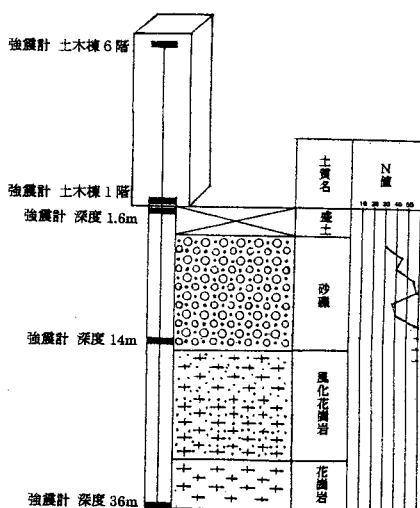
最大震度：1

図3 濃尾平野強震ネットをとれた1998年5月17日岐阜県美濃中西部地震(M=3.9)の加速度記録(東西成分)。震央距離との関係、地盤構造との関係が見られる。



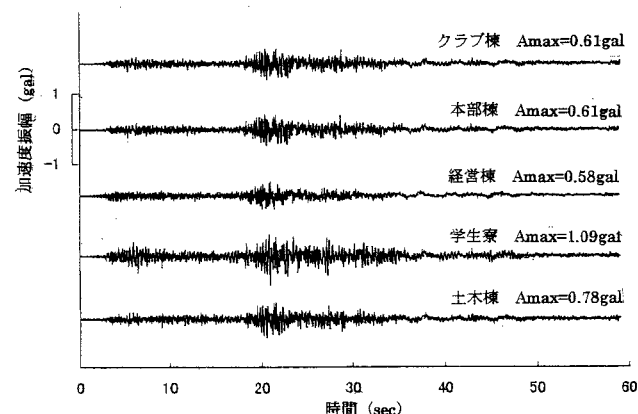
クラブ棟～経営棟：343m 経営棟～学生寮：405m 学生寮～クラブ棟：299m

強震計設置場所：●印(水平アレイ)

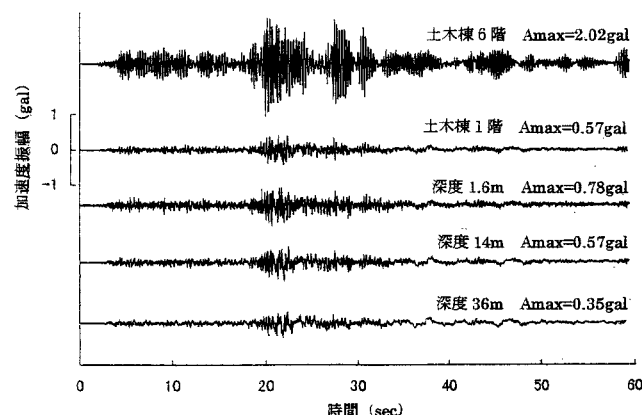


強震計設置場所：一印(鉛直アレイ)

図4 愛知工業大学3次元強震ネット
地表5地点、地中(-14m, -36m),
建物内(1F, 6F)



水平アレイ部分による8月16日地震波形



鉛直アレイ部分による8月16日地震波形

図5 愛知工業大学3次元強震ネット
でとれた1998年8月16日飛騨地方
の地震(M=5.2)の加速度記録。
地盤の増幅特性、建物の増幅特性
が明瞭に見られる。